



カフェのような明るい店内

「他のお店で買ったものだけ、補聴器の不具合がづらい。何とかならないか」ほったあんしん補聴器店には、藁にもすがる思いのお客様が相談に訪れます。

**強みに磨きをかける設備投資を後押し**

「今回の支援で一番大きかったのは『ものづくり補助金』の採択。あのときの辻さんの後押し

**行きます。聞きます。提案します**  
**そして 伴走します**  
 ～商工会の支援事例～ 21  
 鶴来商工会  
**会社の強みの磨き上げや販促支援による企業価値の向上と商圏拡大**

支援先：ほった あんしん補聴器  
<https://www.hottahochouki.com/>

しなくてはならない間違いなくあきらめていました」社長の堀田隆史さんは話します。

難聴の症状は人それぞれで、きこえの程度を音域ごとに測定し、補聴器を設定する必要がありますが、この測定や設定の不備が「補聴器装着後のきこえ」に大きく影響を及ぼします。販売数や接客効率に重きをおく競合大手に対し、当店は正確誠実な応対で優位性を築いていましたが、診断に時間がかかるという弱みを克服できずにいました。

高精度測定機や防音室の導入は以前より構想していましたが、費用負担が過大で踏み切れず、また最初の申請で不採択となつたことでそのハードルの高さに挑戦への迷いも生じていました。しかし、不採択後の話し合いのなかで、この投資が「当社の企業価値を高め、この先十年二十年の未来をつくるもの」であることを確認したことで、堀田さんは再度補助金に挑戦する覚悟を固めました。そして、見事採択を得ることができました。

業界大手を圧倒的に上回る北陸トップレベルの高度設備の導入は、サービスレベルの向上と共に、改めて当店の存在意義を自覚することとなり、専門店として磨きをかけていく意欲向上に繋がりました。



導入した高精度測定器と防音室。一般の6倍の広さで付き添いの方も一緒に入室できる。

**あの手この手の広報・ブランディング（企業価値の向上）支援**

まず取り組んだのがロゴ（店名十画像）の制作。デザイナー「クラウドワークス」の活用を勧め、一〇〇を超える提案の中から、全スタッフが納得するデザインを決めました。補聴器専門店の理念やイメージを象徴するロゴができたことが、販促活動に弾みをつけました。WEBページやチラシ、店頭看板等の制作等、専門家派遣制度等も活用し精力的に取り組みました。

三月三日の「耳の日」には、商工会から新聞社に取材を申し込み、当店の技術力や誠実な接客を発信する記事を掲載しました。信頼性の高いメディアに掲載された効果はきめんで、白山市だけでなく、金沢市や小松

市、能登地区からもお客様が訪れ、一年経過した今も「新聞を見てきました」と多くのお客様が訪れるきっかけとなっております。



2020年3月4日付北陸中日新聞より

**補聴器部門の売上は三倍超にアップ。当社のコア事業に。**

販促の成功は、来客数の増加と共に、堀田さんが「お客様に求められている」と実感する機会を増やし、それが更なる挑戦に取り組む原動力となっております。現在は、県補助金を活用し、コロナ禍に対応する来店不要の「リモート補聴器調整サービス」を立ち上げました。

「この前も涙を流して感謝されるお客様がいらっちゃったんですよ」いつもの控えめな堀田さんが少し目を潤ませて話します。

「不具合が改善せず、補聴器店だけでなく医者にも見捨てられ、つらかった。堀田さんのおかげできこえるようになった。」

自分の人生が明るくなった。感謝しかありません」当店からは感動のエピソードがたくさんこえてきます。



店主の堀田隆史氏と奥様

**担当経営指導員から一言**

- 堀田さんは「関わったお客様の人生を変える」お仕事で、商売を通じた社会貢献を地で行っています。堀田さんからは、小さなお店ならではの強みを伸ばす術を教わると共に、商売に対する熱い想いから勇気と活力をいただいております。今後更なるご活躍をお祈りしております。

**ほったあんしん補聴器**

白山市鶴来下東町力二六  
 (ショッピングスクエアアレックス内)  
 TEL 〇七六二七二一五四〇  
<https://www.hottahochouki.com/>

辻秀樹経営指導員が行った「ほったあんしん補聴器」様への支援は、令和2年度石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました